

令和3年度 外国人児童生徒等に対する日本語指導研究協議会 記録 令和3年11月12日(金) 会場:大泉町立北小学校

ねらい

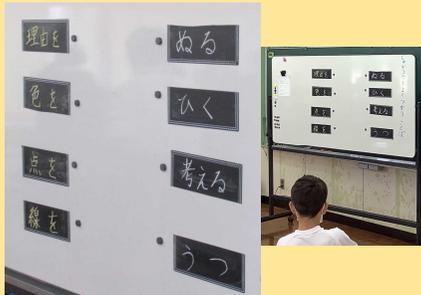
公開授業「単元名:小数の基礎 (JSL(※)算数科)」

(算数科) 小数点の打ち方の理由を考えることができるようにする。【思・判・表】
(日本語) 「～だから～だと思います」といった表現で話すことができるようにする。

(※) JSLについては、本授業の指導案に掲載されている説明をご参照ください。

つかむ

学習用語をつなげて確認



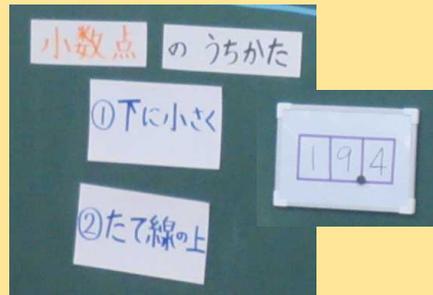
「どちらが速い」ゲームで
速さ比べ



小数の必要性に
気付かせる!

追究する

① 小数点の打ち方の確認



視覚化による理解支援

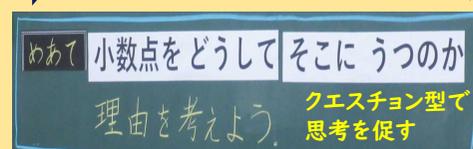
④ 異学年グループで考える

効果的な
学び合いの場
となるよう学年・
日本語能力を
考えた
グルーピング



TTによるヒント・励ましで理解・情意支援

② めあての確認



児童の言葉から
めあてを考えさせることで
学習への主体性を引き出す
自律・情意支援

⑤ グループで発表



図や筆算式などの
表現方法を示しホワイトボード
を活用した表現支援

③ 全体で考える



対話の雰囲気を引き出す
表現支援

まとめる



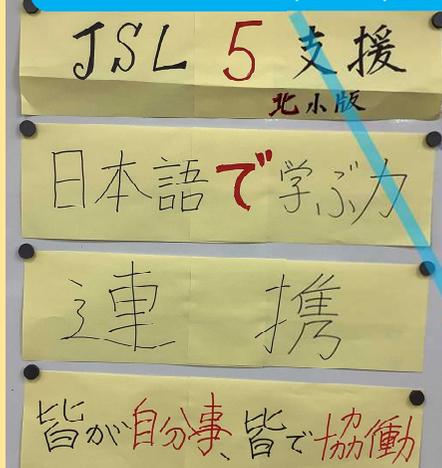
児童の
思考・表現
を振り返り
賞賛

全体会「パネルディスカッション」

テーマ：「在籍学級の学びにつなげる指導の在り方」

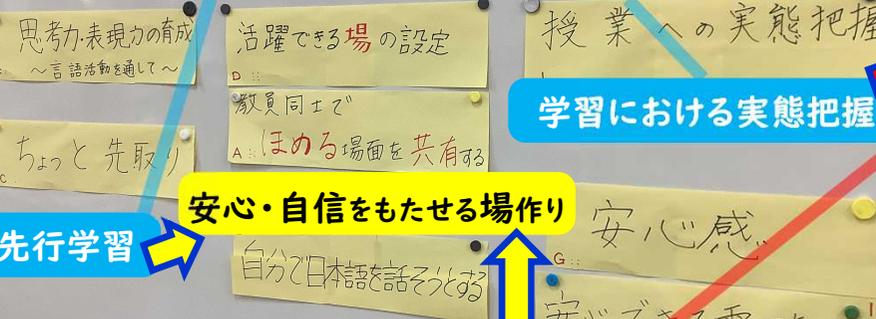


教師による理解/記憶/表現/情意/自律支援



学校全体での支援体制作り

日本語で学ぶ力(思考・判断・表現等)の育成

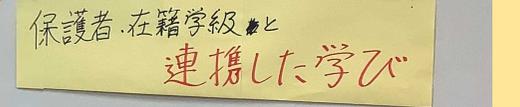


先行学習

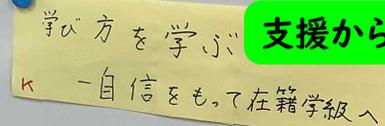
安心・自信をもたせる場作り

学校・学級の温かな雰囲気作り

連携による学びの連続性の保障



支援から自律へ



大泉町の取組についての説明のあと、パネリストによるテーマにつながるキーワードを紹介。その後、グループセッションを行い、全体共有する中で、参加者全員でテーマを深めていきました。





参加者の感想や意見等

本日のような横のつながりがもてるような
情報共有できる時間や工夫があるとありがたい。



もっと話し合う時間
を取ってほしかった。

各学校の日本語学級
の取組や課題について、
情報共有できる時間がとれ
るとよかった。

あたたかい
雰囲気の中で
子供たちが学ぶこと
の大切さを実感した。

子供たちに自己肯定感や
安心感を与える細やか
な指導は参考になった。

今日のような指導方法は、
普通学級にいる子供たちにも
効果的な指導であると感じた。

日本語指導と在籍学級での
学びを分けて考えることなく、
学校全体で考え、
教育することの大切さを
再確認できた。

子供たちの
学び合う姿を
見ることができた。

協議会や「ハーモニー」から
のアイデアを参考に、
自分のできる分野からすぐ
にでも取り組んでいきたい。



パネルディスカッションの
テーマが参加者の疑問や課題
と感じているものであり、実りの
多いものになった。

在籍学級の担任
にも今日のような授業を
見てほしいと思った。

在籍学級での学び
につなげる実践は、
引き続き取り上げて
いただきたい。

グループ学習を
本校でも取り入れて
みようと思った。

学校に
持ち帰って
ぜひ生かしたい。

協議をもてる時間が
普段からもっと
あるとよい。

相談会のような機会
があると、未経験者
や散在地域の先生
方は救われるかなと
思った。

